

【W4】「トラウマからの再生：事例と体験から学ぶボニー式 GIM (The Bonny Method of Guided Imagery and Music)」

【講師】吉原 奈美

【要旨】

この講習会は、ボニー式 GIM(The Bonny Method of Guided Imagery and Music)について、事例や体験を通して理解を深めることを目的としています。ヘレン・ボニー博士の名前やその手法を耳にしたことがある方は多いかも知れません。ですが、GIM は実際の事例に触れたり、体験をしてみないとその真髄を理解するのは難しいものです。トランスパーソナル心理学に関わり、深層心理に触れる手法であり、『ちょっと怖い』と感じている方もいるかも知れません。日本での臨床事例や実際の GIM グループ体験を通して、謎の多いボニー式 GIM を少し身近に感じていただきたいと思います。

前半は、トラウマを抱えたクライアントの症例を中心に、ボニー式 GIM の基本的な概念を紹介します。トラウマは特別なものではなく、どのような対人支援の現場においても「トラウマ・インフォームド・ケア」の知識や対応が求められています。全ての人がなんらかのトラウマを抱えており、それが日常生活に様々な影響を与えているからです。この講座では、GIM の 3 大要素である音楽・イマジェリー(心象)・非日常(変性)意識状態を通して、どのようにクライアントが『再生』に向けて動いていくのかを深掘りします。また、今大会のテーマである『Listen』が、GIM においてどのように重要な役割を果たすかを、実際の音楽サンプルを聴きながら体感していただきます。

後半は、ボニー式 GIM における音楽の働きについて理解を深めるため、グループでの GIM 体験を行います。GIM は通常、個人で行われ、必要に応じて療法的介入が加えられますが、グループの体験では個別の介入を行いません。短い音楽を用いて音楽とイマジェリーの世界を体感していただきたいと思います。その際、GIM を体験をより深めるためのコツもお伝えします。

* 本講習会は GIM トレーニングではなく、スライド資料の配布はありません。ご自身の臨床にとって重要だと感じた内容をメモを取っていただくのは構いませんが、講義を通して GIM の全体像を大まかに把握していただくことを目指しています。

【プロフィール】

音楽療法博士(PhD)、公認心理師、米国認定音楽療法士(MT-BC)

認定 GIM フェロー(FAMI)、認定 GIM トレーナー

Musicure 代表 <musicure-mt.com>

Radford 大学において Jim Borling 氏に師事し、Temple 大学において GIM の研究を行い博士号を取得。現在も GIM と文化について国際チームの一員として研究をしている。GIM の臨床は渋谷のサロンを拠点に行う。名古屋音楽大学での GIM トレーニングにサポートトレーナーとして参加し、現在は認定 GIM トレーナーとして GIM トレーニングを行っている。